

【学校沿革の概要】

明治66～ 勉習学舎（畑中村・地藏院）和田学舎（日陰和田村・徳昌寺）
 好文学舎（下村・天澤院）
 柚木学舎（柚木村・円光院）開校。
 明治87 四つの学校がそれぞれ、畑中学校、日影和田学校、下村学校、
 柚木学校と改称。
 明治106 四つの学校を統合して、江南学校とし、畑中支校、
 柚木支校を置く。（本校の現位置）
 明治127 江南学校が分離し、柚木学校、江南学校、中和学校（畑中村、
 日影和田村連合）となる。
 明治147 柚木学校の校舎新築。
 明治15.10 中和学校が分離、日影和田村の児童は江南学校へ。
 明治164 畑中学校の校舎新築（現公会堂地）。
 明治19 畑中学校が江南学校の畑中分教場となる。
 明治22.4 畑中、日影和田、下、柚木の4か村が合併し、
 吉野村となる。
 明治25.4 江南学校を吉野尋常高等小学校と改称。
 明治29.11 高等科を併設。
 明治30.8 初代校長 並木左傳就任。
 明治36.5 2代校長 岡本竹次就任。
 明治38.4 3代校長 小出蕉就任。
 明治39.5 4代校長 青山鹿蔵就任。
 明治40.7 柚木小学校を廃し、柚木分教場とする。
 明治41.10 5代校長 河野末吉就任。
 明治43 校章制定（桜の花をかたどる）。
 明治45.4 6代校長 沖倉興一就任。
 大正11.3 7代校長 佐藤兵吾就任。
 大正11.3 現校地に校舎を新築し（東校舎）堀之内校舎を仮校舎として使
 用する。
 大正15.3 8代校長 藤野吉次就任。
 昭和5.10 校歌制定。
 昭和6.7 9代校長 市村福蔵就任。
 昭和8.5 10代校長 長田市郎就任。
 昭和9 学校農園経営、栄養給食をする。
 昭和13.1 11代校長 瀧島良吉就任。
 昭和14.5 西校舎を増築。畑中、柚木両分教場の改築・
 落成式挙行（開校記念日の根拠）。
 昭和16.4 西多摩郡吉野国民学校と校名変更。
 昭和16.7 12代校長 増毛光一就任。
 昭和17 「郷土の観察」の研究指定校。
 昭和21.3 13代校長 福島修一就任。
 昭和22.4 新学制発足。西多摩郡吉野村立吉野小学校と校名変更。
 昭和23.9 14代校長 榎本武三就任。
 昭和25 学校図書館を設置する。
 昭和27.10 15代校長 山崎彦尚就任。
 昭和30.4 町村合併により吉野村は青梅市に合併。
 青梅市立第五小学校と校名変更。
 昭和31.3 学校文集「うめのさと」創刊。
 昭和33 東京都道徳研究指定校となる。
 昭和34.4 市研究指定校として社会科の研究発表を行う。
 昭和35.4 16代校長 榎本直亮就任。
 昭和37.9 プール完成。
 昭和38.9 特別教室（理科、音楽）完成。
 昭和38.11 創立90周年式典挙行。
 昭和39.4 17代校長 来住野元一就任。
 昭和41.3 給食室完成。
 昭和41.4 18代校長 小川淳就任。
 昭和42 放送室新設。
 昭和43 市算数研究指定校。
 昭和44.4 19代校長 宮澤福次郎就任。
 昭和44.10 校舎改築第1期工事着工。45年3月完成
 昭和45.6 校舎改築第2期工事着工。46年3月完成。
 昭和46.3 畑中・柚木両分校を廃し本校に統合。
 昭和46.4 学区児童全員が本校で学ぶ体制確立。
 畑中・柚木地区1・2年生はバス通学。

昭和46.5 市主催、校舎落成式。
 昭和47.12 「少年の像」建立。
 昭和48.3 隣接の市立第4中廃校、同校校地と体育館を本校に併合。
 昭和48.3 創立100周年記念式典挙行 記念碑を建立。
 昭和49.8 校舎増築工事着工。
 昭和50.3 創立100周年記念庭園完成。
 昭和51.3 旧市民会館梅郷分館跡地が学級園に。
 昭和52.4 市特別活動指定校。
 昭和54.11 「よい歯の学校」として表彰される。
 （昭和57・58・59・60年度、平成元年度も同様）
 昭和55.4 20代校長 二瓶道男就任。
 昭和59.12 創立110周年、記念誌、航空写真。
 昭和61.4 21代校長 島田辰也就任。
 昭和61.10 飼育小屋2棟完成。
 平成2.4 22代校長 八木光次就任。
 平成2.11 体育館改築工事着工。3年10月完成。
 平成3.5 校歌碑建立、清水力三文庫設置。
 平成5.5 創立120周年、航空写真撮影。
 平成6.4 23代校長 吉原光博就任。
 平成7.11 市研究協力校研究発表校として国語科の研究発表を行う。
 平成9.3 校庭の岩石を職員室前に移動。
 平成11.4 24代校長 平野行子就任。
 平成12.3 「学童水泳優秀小学校」として全国水泳連盟より表彰される。
 平成13.11 青梅消防署より感謝状贈呈。
 平成15.8 「感謝」の碑（清水力三氏）建立。
 平成15.11 創立130周年記念集会。
 平成16.4 25代校長 邑上裕子就任。
 平成17.3 教育相談室改修。
 平成17.9 校内無線LANシステムの導入。
 平成17.11 市研究指定校として算数科の研究発表を行う。
 平成19.1 西門改修。
 平成19.4 26代校長 仁藤茂則就任。
 「子どもと親の相談員」等活用事業調査委託事業実施。
 平成20.7 校舎耐震補強工事着工。同年10月完成。
 平成21.1 元第四中プール（市民センタープール）解体。
 平成21.4 文部科学省外国語活動研究指定校となる。
 都スクールカウンセラーの配置。
 平成21.6 おうめ放課後子ども教室「タヤけランド」開始。
 平成22.2 文部科学省研究指定校として外国語（英語）活動の研究発表。
 平成23.1 青梅市小学校英語活動推進モデル校として英語活動の研究発表。
 平成24.4 27代校長 根本美恵子就任。
 平成24.8 普通教室及び音楽室の空調設備完成。
 平成24.11 東京都「子供の体幹を鍛える」研究協力校
 平成25.4 東京都平成25年度言語能力向上推進校指定。
 平成25.9 創立140周年記念集会、航空写真撮影。
 「五小ふるさと室（五小歴史館）」設置。
 平成26.4 東京都平成26年度言語能力向上拠点校指定。
 平成27.4 28代校長 徳長邦彦 就任。
 畑中・柚木地区バス通学、全学年に拡大。
 平成27.10 東京都教育委員会言語能力向上拠点校・青梅市教育委員会研究
 指定校として研究発表会を行う。
 平成28.4 オリピック・パラリンピック教育重点校の指定を受ける。
 平成28.10 ビースラン事業に協力
 夢・未来プロジェクト 実施
 女子バスケットボール元日本代表「原田裕花選手」来校
 平成28.11 音楽会開催
 こころのチャレンジプロジェクト 実施
 男子バレーボール元日本代表「山本隆弘選手」来校
 平成29.4 トイレ改修工事始（～8月）
 平成29.5 特別支援教室開設
 平成29.11 梅の里再生事業 校内に梅の苗木植樹
 平成30.4 29代校長 中嶋 太 就任
 平成30.12 オリンピアンとの交流会 実施
 陸上競技ハードル走元日本代表「館野哲也選手」来校
 令和元.10 和太鼓奏者 小林太郎さん 来校
 令和元.12 バラスポーツスクール 実施
 ブラインドサッカー 原口淳選手
 令和2.1 アスリートとの交流会 実施
 3×3バスケ 沢頭智弘選手
 令和2.3・4・5 臨時休校（新型コロナウイルス感染防止のため）
 令和2.6 オリンピアン交流 野球元日本代表 小林 雅英氏
 令和3.4 30代校長 刀瀬 浩子 就任
 令和3.12 屋上防水・外壁改修工事